

関連計画との連携

諏訪湖創生ビジョン

平成30年3月策定。諏訪湖の水環境保全を統合的に推進し、“諏訪湖を活かしたまちづくり”と一体的に進め、「誰もが訪れたいくなる諏訪湖」を実現するための道筋を示すもの。
湖辺面活用・まちづくりにおける将来像として、「サイクリングロードを利用する人も増え、自転車を楽しむ愛好者の拠点として機能する」を掲げ、諏訪湖周サイクリングロードの整備を主要事業として位置づけています。

長野県自転車活用推進計画

平成31年3月策定。平成29年5月の「自転車活用推進法」施行、平成30年6月の「自転車活用推進計画」閣議決定を受け、県の自転車利用の考え方及び自転車の活用の推進に関する施策の方向性と、その具体化のための措置を定めるもの。
長野県1周ルート『Japan Alps Cycling Road』のルート設定を行い、その中で、諏訪湖周サイクリングロードを先行整備区間として位置づけています。

諏訪湖周自転車活用推進計画

平成31年3月策定。国土交通省及び長野県の自転車活用推進計画で示された目標や施策を勘案し、地域の実情に応じた施策を実施するために策定。
「諏訪湖周サイクリングロード基本計画」による基本コンセプトやルートを踏襲し、諏訪湖創生ビジョンや基本計画に掲げる将来像を実現することを目的に、目標及び実施する施策等を定めています。

JAZZO - MANIA



武井 武雄

【(1894 (明治 27) 年 - 1983 (昭和 58) 年)】

平野村 (現岡谷市) 西堀に生まれる。幼少の頃は病弱で、家の中で絵や俳句に親しんでいた。
東京美術学校 (現東京藝術大学) 西洋画科卒業後、絵雑誌『コードモノクニ』などに絵を描き始める。それまでの子どものための絵に見られなかったような、空想力とユーモアに富んだ新しい感覚の作品を次々に発表し、それらを“童画”と名づけ、「童画の世界」を確立した。

また、童画のほか版画・刊本作品の制作、童話の創作、本の装丁など、多岐にわたって活躍した。

武井武雄の世界
イルフ童画館

ジャズ・マニア

岡谷市出身の童画家武井武雄は昭和5年彫刻家河村目呂二の言葉から自転車の遠乗会を発足し、ジャズ・マニアと命名した。自転車の部品を解体してJAZZOと組みなおしたロゴをデザインし、サドルが抜けているので、サドルを模ったバッチも作成した。

遠乗りを何回か続けるうちに制服もつくり、自転車も独自のデザインに改良していった。

ポンポン ジャズ マニア

と三回繰り返し、ポンと締めてラッパを吹き鳴らして出発した。

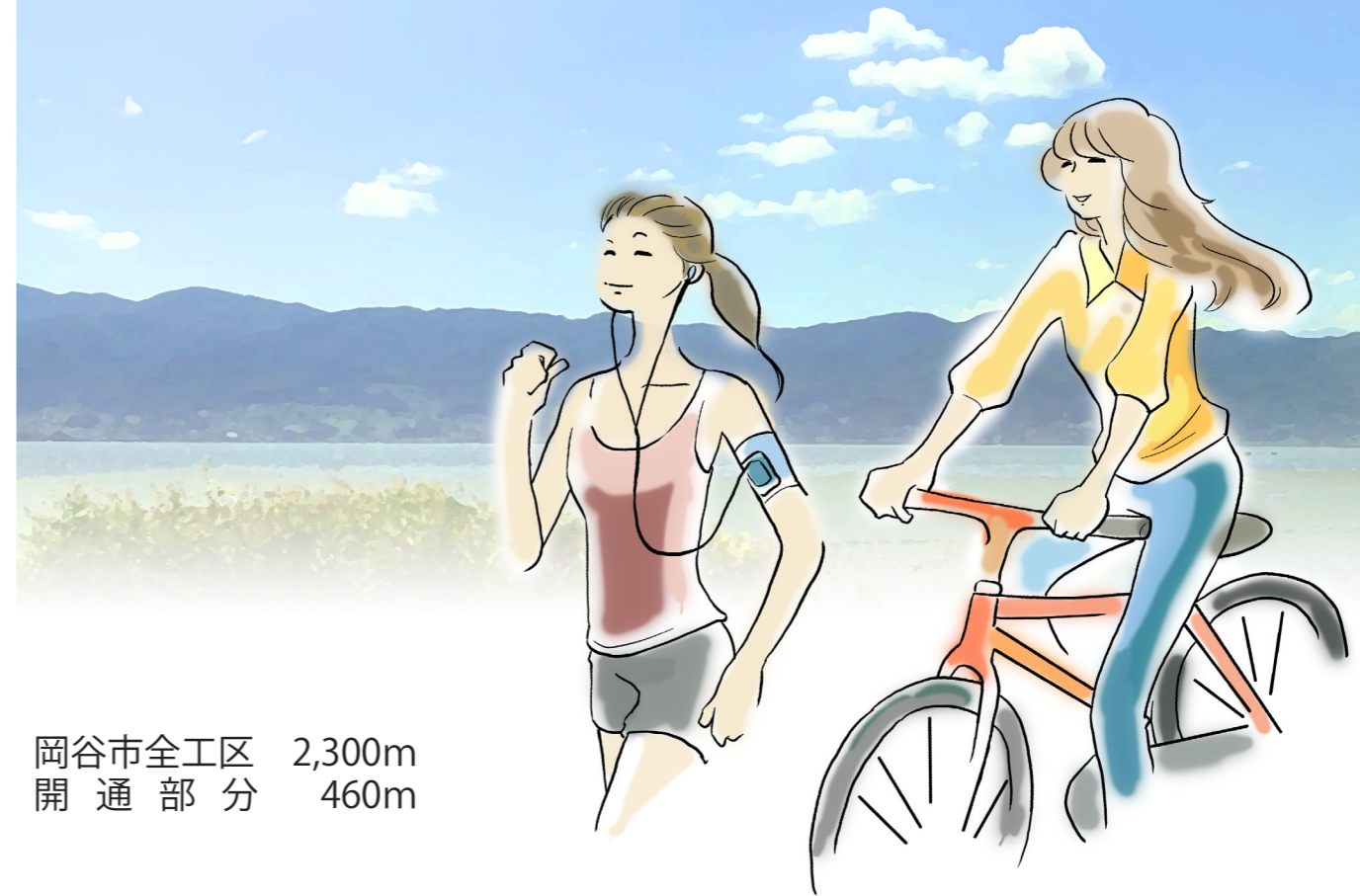


諏訪湖周サイクリングロード計画 岡谷市工区部分開通

美しいが、生まれるまち

岡谷

— OKAYA —



岡谷市全工区 2,300m
開通部分 460m



はじめに

諏訪地域は県内最大の湖である諏訪湖を中心に、八ヶ岳、蓼科高原、霧ヶ峰高原など美しい自然環境に加え、諏訪湖畔は岡谷温泉・上諏訪温泉・下諏訪温泉など豊富な温泉に恵まれ、諏訪大社や中山道の宿場町として栄えてきたこの地域は、近年では美術館・博物館が多く集まり、多くの観光客が訪れます。

諏訪湖周においては、昭和61年度から『ゆとりとうるおいのあるまちづくり』をテーマに、諏訪湖一周ジョギングロードの整備を推進してきました。令和元年度に全線の整備が完了し、安全に諏訪湖一周のジョギングが楽しめるようになります。

一方で、自転車が安全に通行できる空間は未だ整備途上であり、自転車と歩行者の事故が絶えない状況のなか、近年は健康志向や環境意識、観光の移動手段としての自転車利用も高まっています。

諏訪湖周サイクリングロードの整備

このような背景のもと、諏訪湖周の岡谷市、諏訪市、下諏訪町、長野県は、平成28年8月に「諏訪湖周サイクリングロード基本計画」を策定、平成30年3月に上位計画にあたる「諏訪湖周自転車活用推進計画」を策定しました。

これらの計画は、「諏訪に住み、働き、集うすべての人々が、多様な目的に身近な交通手段として、自転車を安全で快適に利用できる諏訪湖まちづくり」を基本コンセプトとして、「観光」「健康」「スポーツ」「環境」の4つの観点で目標及び施策を定めております。

民間や観光部局との連携により、豊富な観光資源が立地する諏訪湖周に、諏訪湖周サイクリングロード設置など、安全・安心な自転車利用環境の整備も含めた道路整備を促進し、地域の満足度の向上を図って参ります。

整備の目標（諏訪湖周自転車活用推進計画より）

「諏訪に住み、働き、集うすべての人々が、多様な目的に身近な交通手段として自転車を安全で快適に利用できる諏訪湖まちづくり」

を目指し、諏訪湖周サイクリングロードの整備は以下の目標を掲げ推進します。

目標1

「交通環境」：誰もが無理なく快適に利用できる諏訪湖周のサイクリング環境の創出

諏訪湖周サイクリングロード整備率
【現状】2018年：5% ⇒ 【目標】2023年：98%（15.7km） 橋梁部以外の完成現状

目標2

健康・スポーツ・環境」：諏訪湖の自然や湖畔からの眺望を楽しみながら、誰もが気軽に健康増進を図れるサイクリング環境の整備

通勤・通学における交通分担率
【現状】2018年：7.6% ⇒ 【目標】2023年：10%

目標3

「観光振興」：諏訪湖周に立ち並ぶ美術館や公園などの施設と連携したサイクリング環境の整備

延宿泊者数
【現状】2017年：125万人 ⇒ 【目標】2023年：152万人（22%増）

目標4

「安全・安心」：自転車事故のない安全で安心な諏訪湖周のサイクリング環境の整備

諏訪湖周における自転車乗車中の死傷者数
【現状】2017年：58人 ⇒ 【目標】2023年：減少

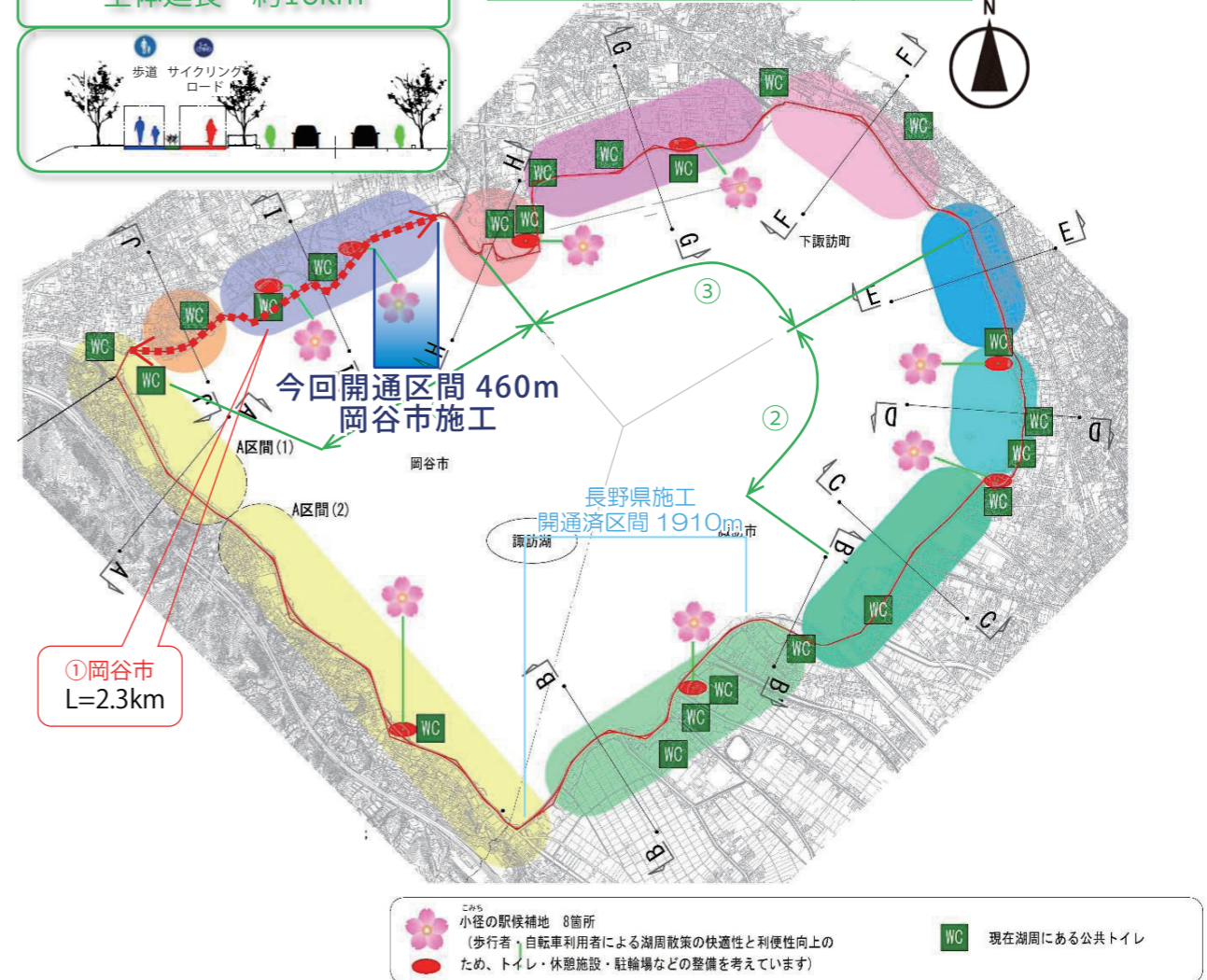
整備内容

自転車走行空間（サイクリングロード）の整備

全体延長 約16km



管理者	箇所	延長
①岡谷市	釜口水門～下諏訪町境	L=2.3km
②諏訪市	下諏訪町境～ヨットハーバー	L=2.7km
③下諏訪町	岡谷市境～諏訪市境	L=4.1km
④長野県	釜口水門～ヨットハーバー	L=6.6km



「小径の駅」（休憩施設）の整備

サイクリングやジョギングを快適に楽しめるように「小径の駅」（休憩施設）を設置します。

- 既存施設の有効活用（湊湖畔公園など8箇所の候補地）
- 自転車用スタンドの設置
- 案内サインの設置



官民で連携し楽しくサイクリングできる環境整備

官民で連携し楽しくサイクリングできる環境を目指し、以下の事項を促進します。

- 温泉施設や美術館等との連携により、トイレの利用、飲み物等の購入、自転車の修理が可能な施設「サイクルステーション」の設置
- コンビニエンスストアや飲食店等を「サイクルオアシス（休憩所）」に認定
- レンタサイクル施設や主要駅、観光施設などの情報をルートマップやモバイルアプリケーションで発信
- 周辺観光地と連携した、ニーズに応じた多彩なサイクリングコースの設定